

令和3年度健康実態調査の結果について（概要）

※【 】で表記した部分は、同一の質問項目に関する昨年度の集計結果である。

1. 調査の目的

平成24年9月に「カネミ油症患者に関する施策の総合的な推進に関する法律」が施行され、「カネミ油症患者に関する施策の推進に関する基本的な指針」（厚生労働省・農林水産省告示）に基づき、カネミ油症患者の生活習慣、病状、治療内容等について把握し、カネミ油症に関する調査研究を更に推進することを目的とする。

2. 調査期間

令和3年4月～6月末

3. 調査対象及び回答者

各都道府県で把握している1,553人の認定患者（令和3年3月31日時点の調査対象見込者数、前年度1,562人）のうち、死亡や所在不明の方、非協力の意向を示された方等を除いた1,344人【1,362人】から回答を得た。

4. 調査項目

平成20年度に厚生労働省が実施した油症患者に係る健康実態調査の調査項目を元に、全国油症治療研究班（厚生労働科学研究費補助金による）で、カネミ油症患者の意見を聞きつつ決定した生活習慣、健康状態や悩み、治療状況、これまでににかかったことのある病気・症状などの項目を調査した。

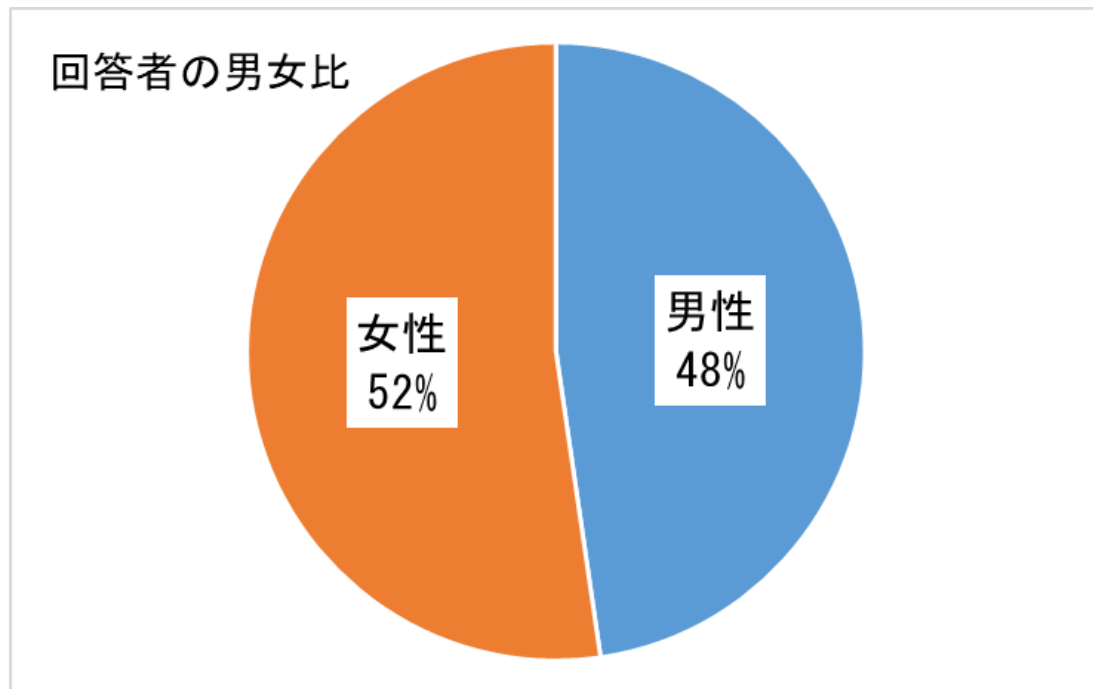
5. 調査結果の活用

調査結果については、アンケートに基づく調査の医学的・科学的解釈の限界に留意しつつ、全国油症治療研究班（厚生労働科学研究費補助金による）において、過去の健康実態調査及び過去の検診結果等と併せてより詳細な解析を行い、翌年度以降の健康実態調査項目などカネミ油症に関する調査研究に活用される予定である。

6. 調査結果の概要

(1) 性別

・男性641人【647人】、女性703人【715人】、不詳0人【0人】



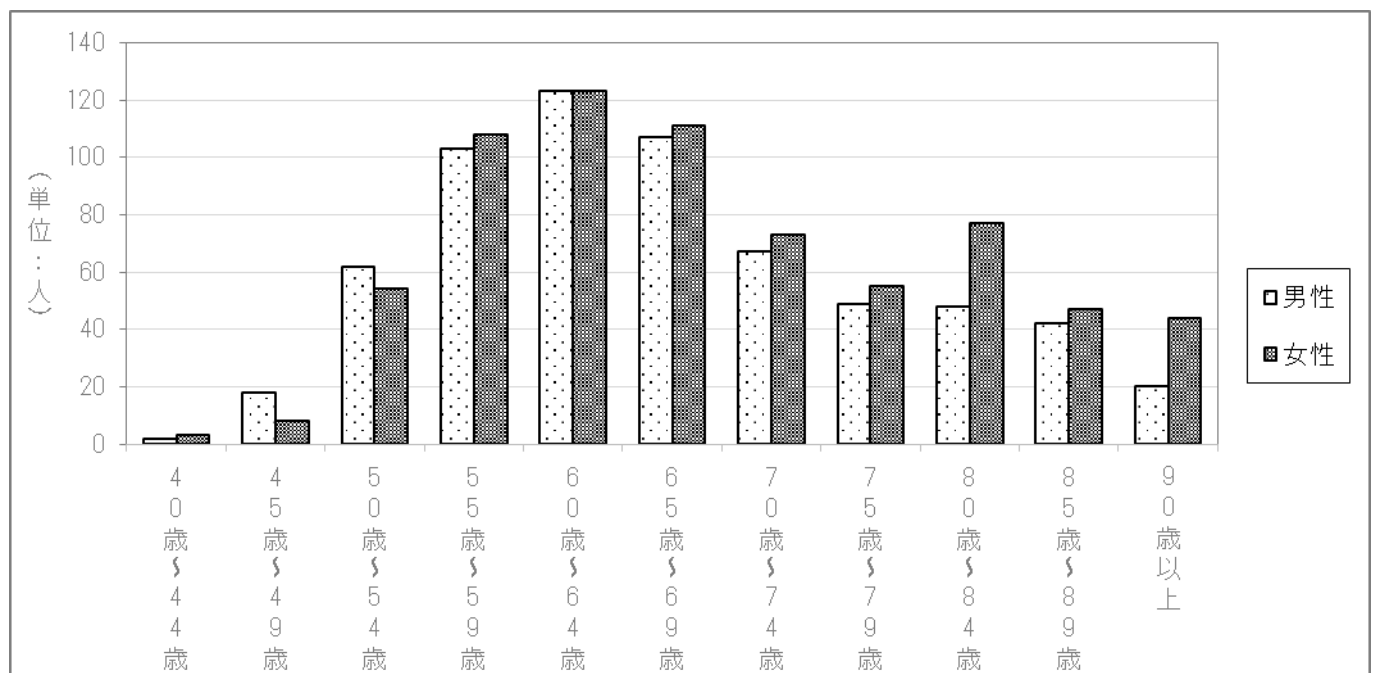
(2) 年齢

・平均年齢は68.0歳【67.3歳】であった。

男性66.9歳【66.3歳】、女性69.0歳【68.3歳】

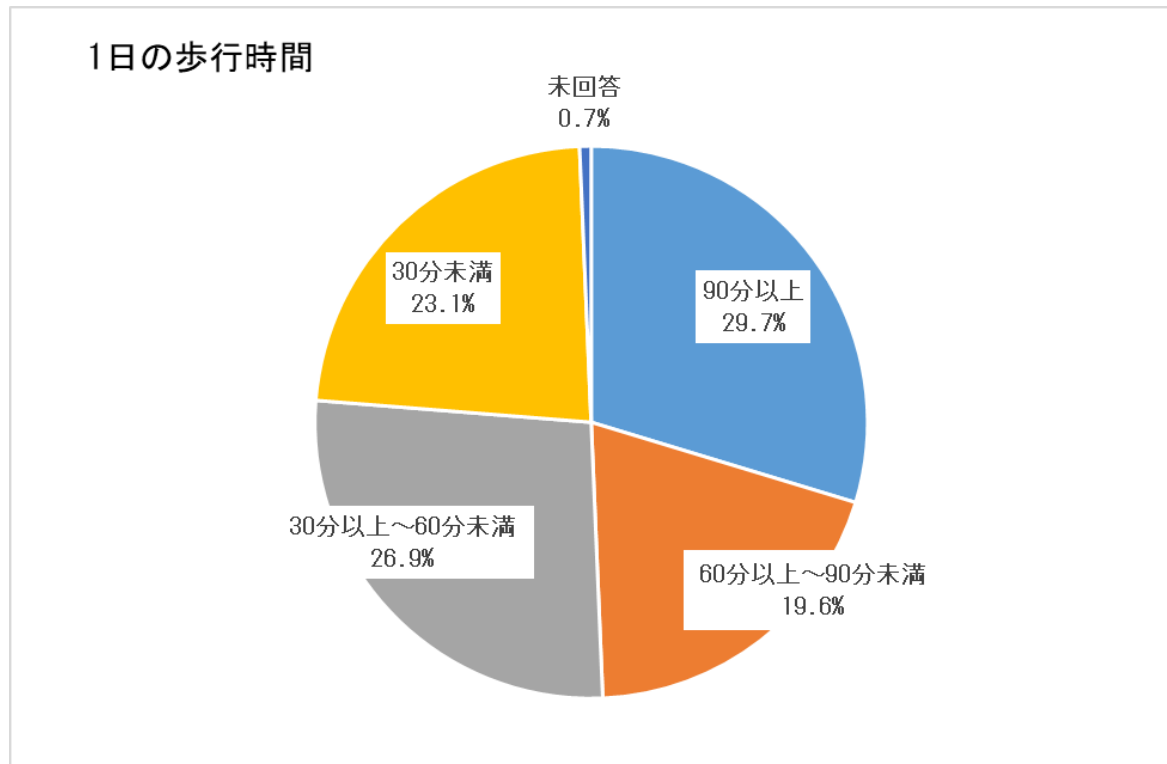
・男性は、「60～64歳」の者が19.2%【18.5%】と最も多く、次いで、「65～69歳」が16.7%【14.4%】、「55～59歳」が16.1%【18.2%】等の順であった。

・女性は、「60～64歳」の者が17.5%【16.1%】と最も多く、次いで、「65～69歳」が15.8%【13.8%】、「55～59歳」が15.4%【16.4%】等の順であった。

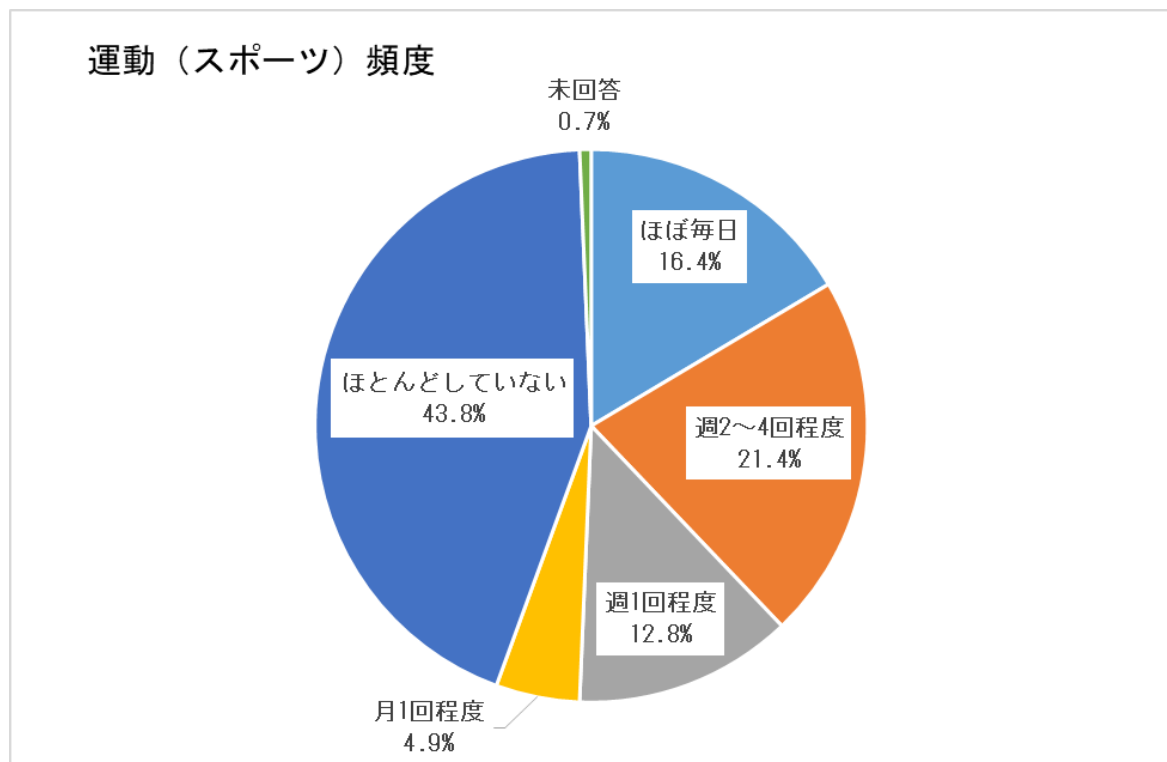


(3) 生活習慣について

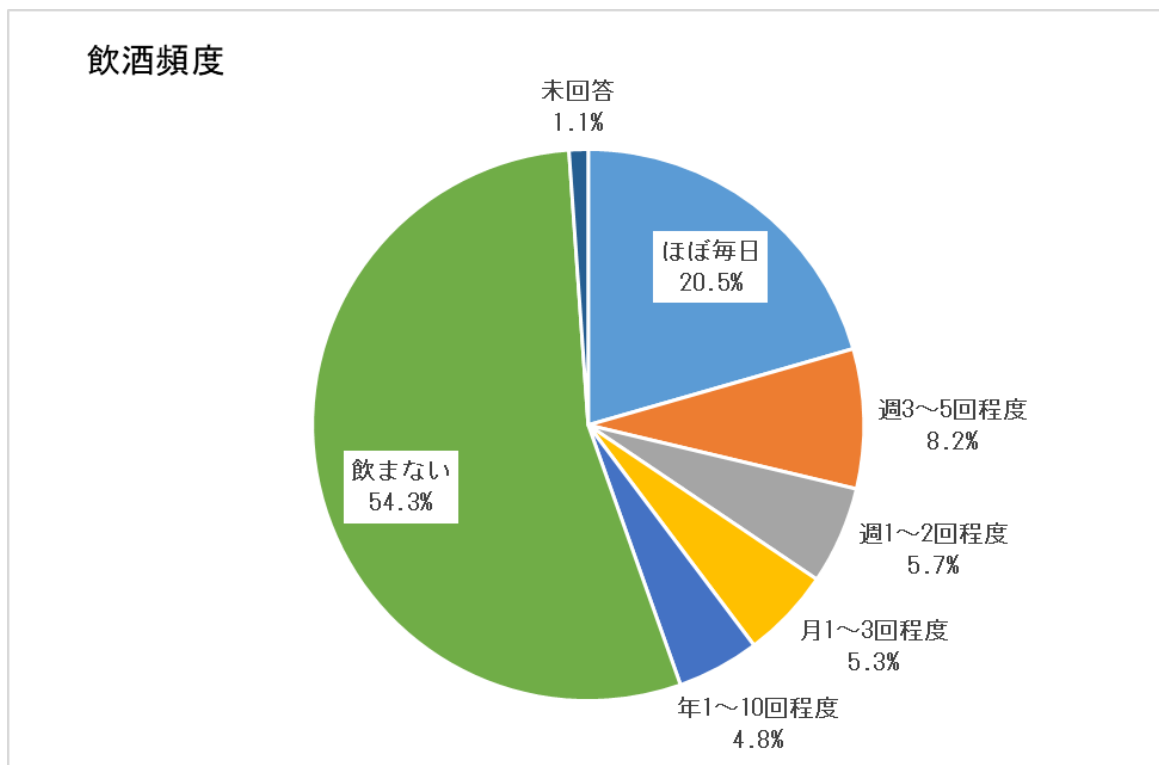
- ・ 1日の歩行時間についてみると、「90分以上」と回答した方が29.7%【29.0%】と最も多く、次いで、「30分以上～60分未満」が26.9%【25.4%】、「30分未満」が23.1%【25.8%】等の順であった。



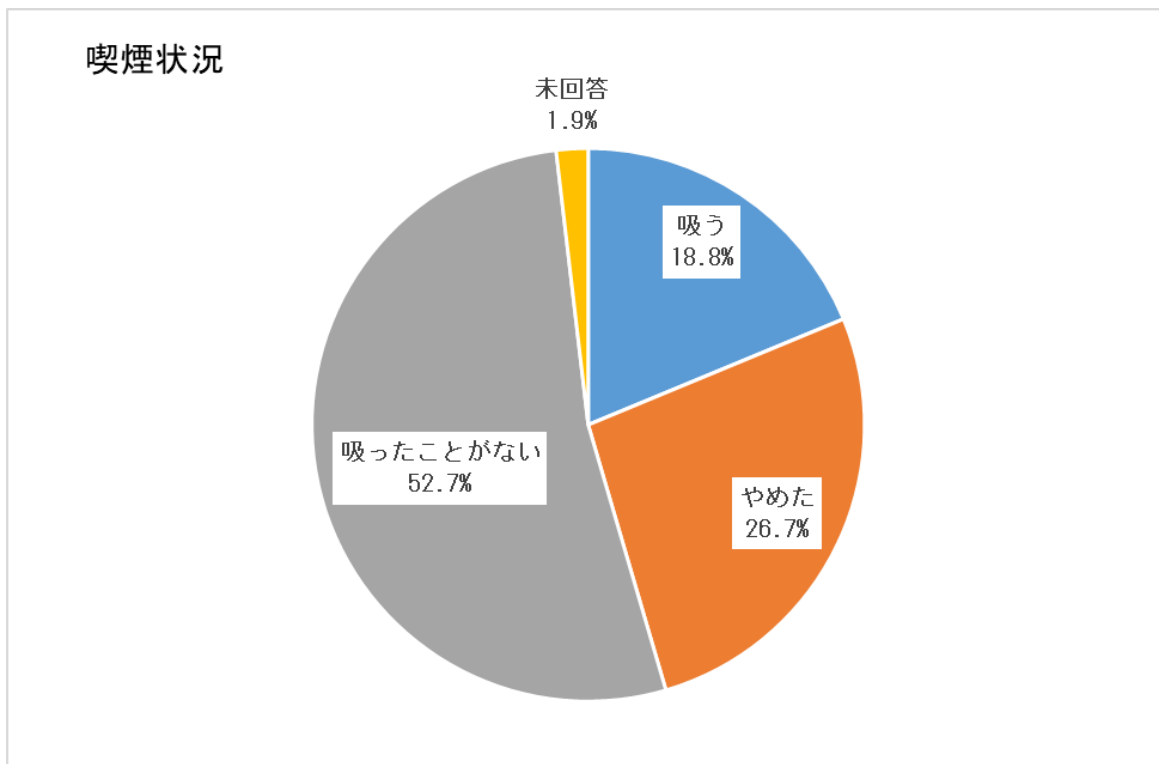
- ・ 運動(スポーツ)頻度についてみると、「ほとんどしていない」と回答した方が43.8%【42.7%】と最も多く、次いで、「週2～4回程度」が21.4%【21.3%】、「ほぼ毎日」が16.4%【15.9%】等の順であった。



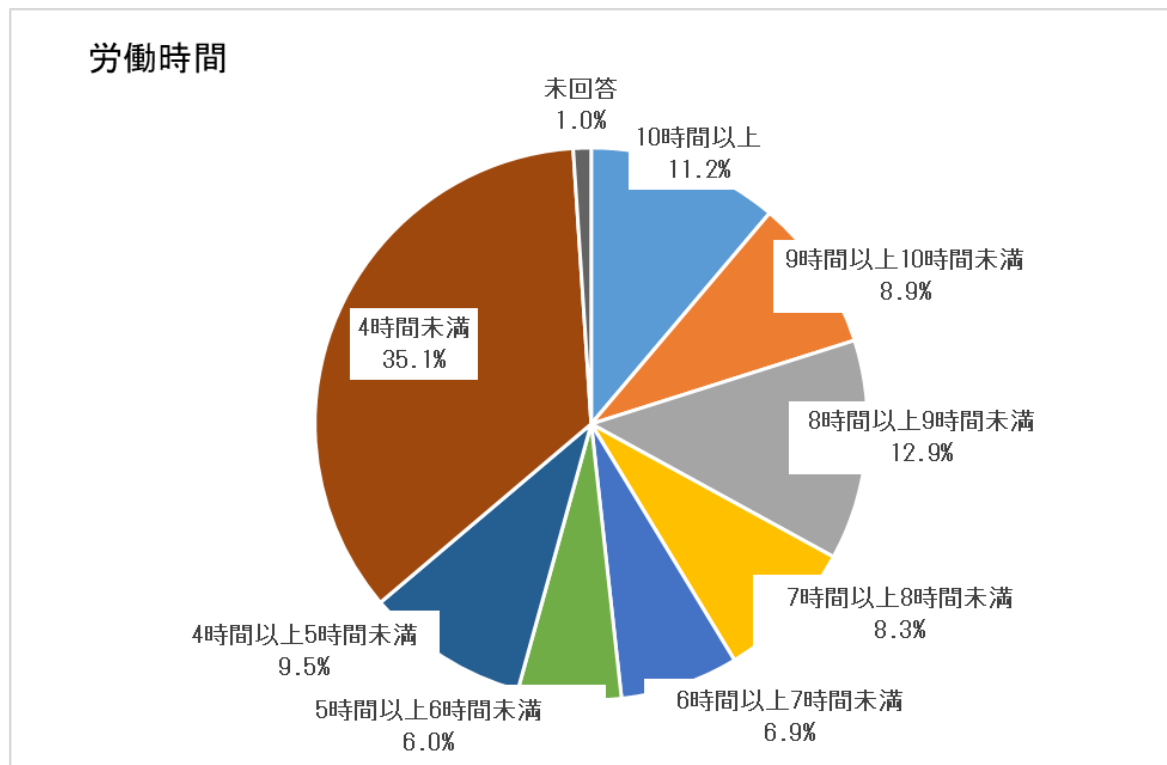
- ・飲酒頻度についてみると、「飲まない」と回答した方が54.3%【52.7%】と最も多かった。



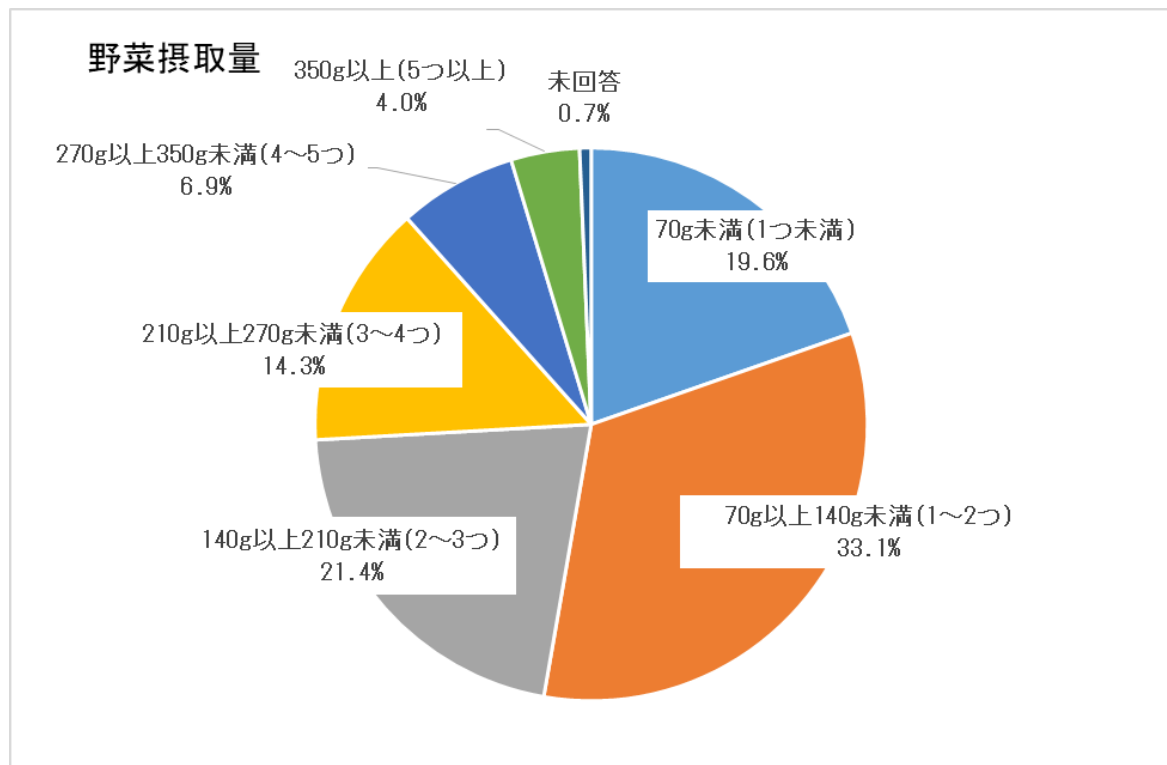
- ・喫煙状況についてみると、「吸ったことがない」と回答した方が52.7%【61.2%】と最も多かった。



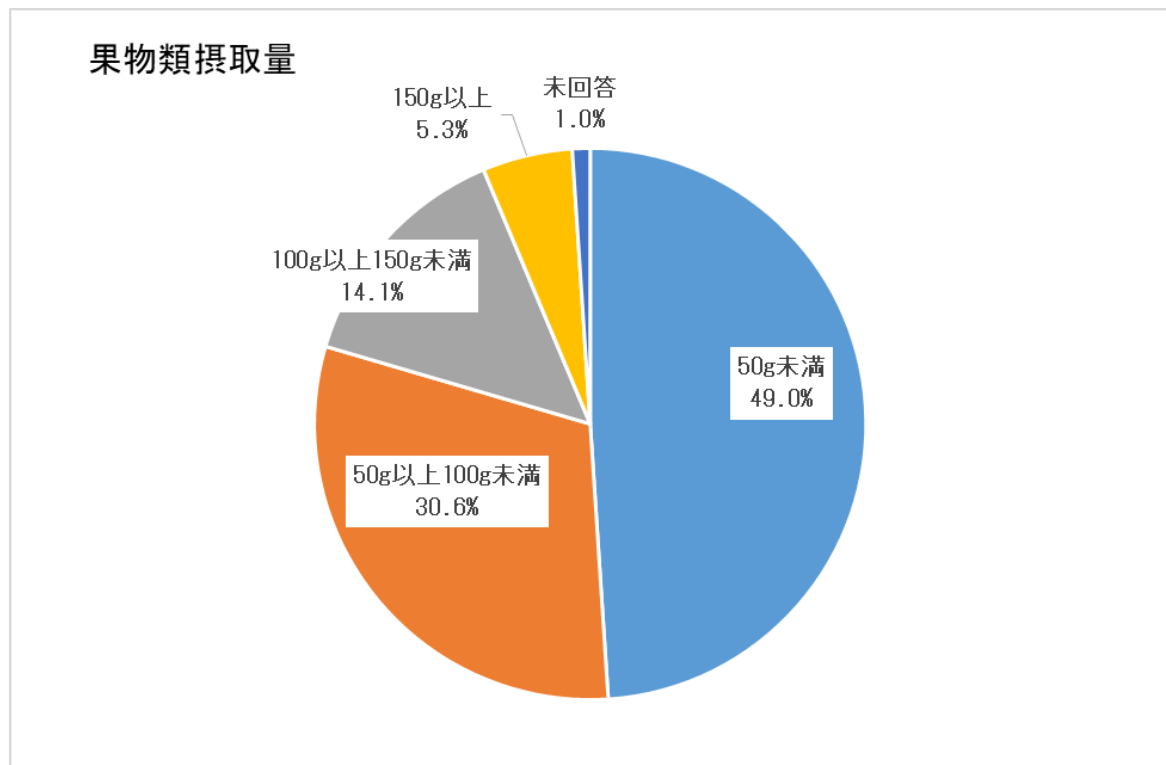
- ・労働時間についてみると、「4時間未満」と回答した方が35.1%【35.4%】最も多く、次いで「8時間以上9時間未満」が12.9%【13.2%】、「10時間以上」が11.2%【11.2%】等の順であった。



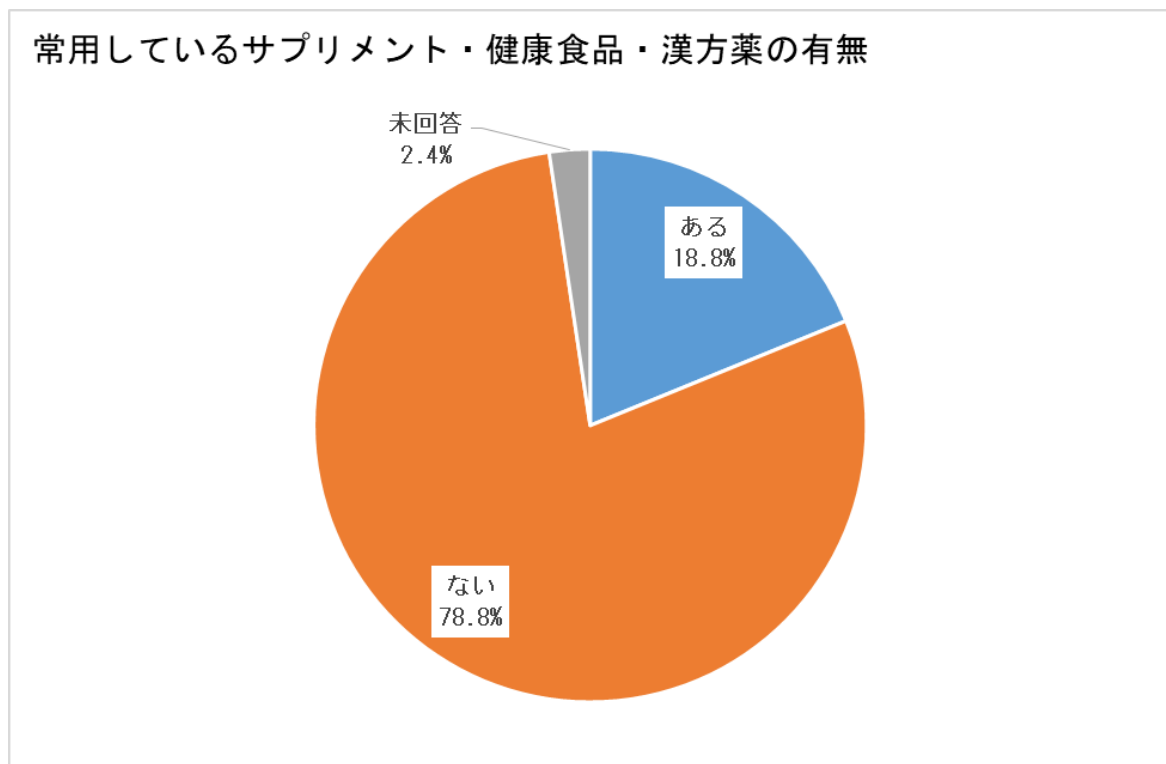
- ・野菜摂取量についてみると、「70g以上140g未満（1～2つ）」と回答した方が33.1%【30.5%】と最も多く、次いで、「140g以上210g未満（2～3つ）」が21.4%【21.3%】、「70g未満（1つ未満）」が19.6%【20.4%】等の順であった。



- ・果物類摂取量についてみると、「50g未満」と回答した方が49.0%【49.6%】と最も多く、次いで、「50g以上100g未満」が30.6%【27.6%】、「100g以上150g未満」が14.1%【16.4%】等の順であった。

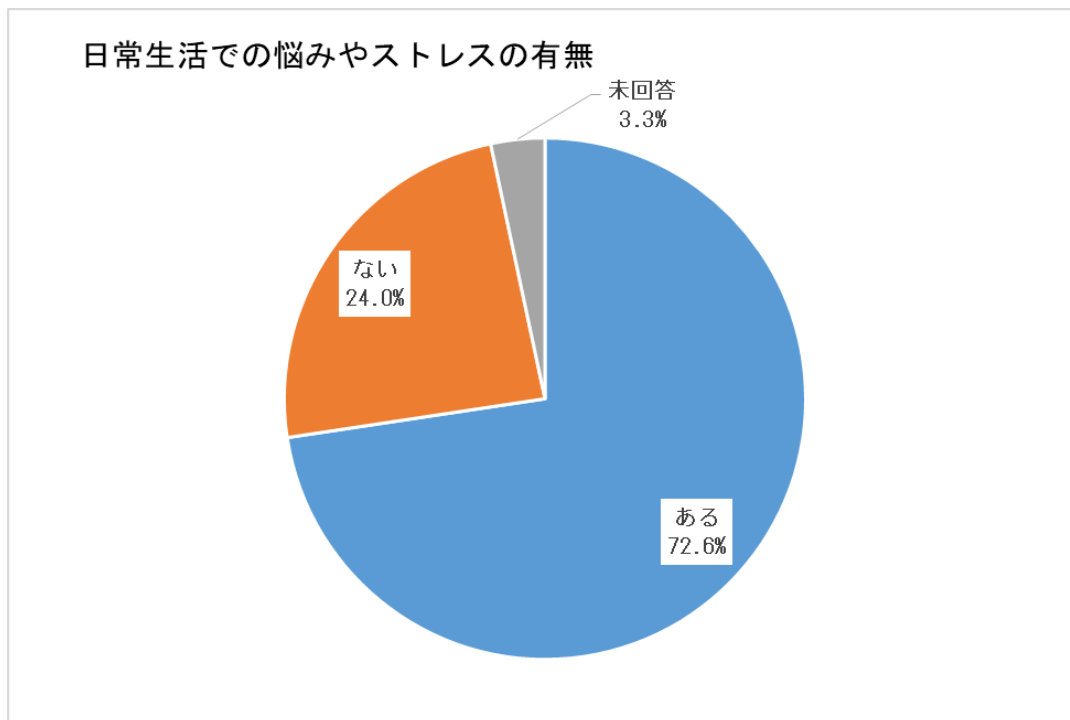


- ・常用しているサプリメント・健康食品・漢方薬の有無についてみると、18.8%【17.5%】が「ある」と回答した。

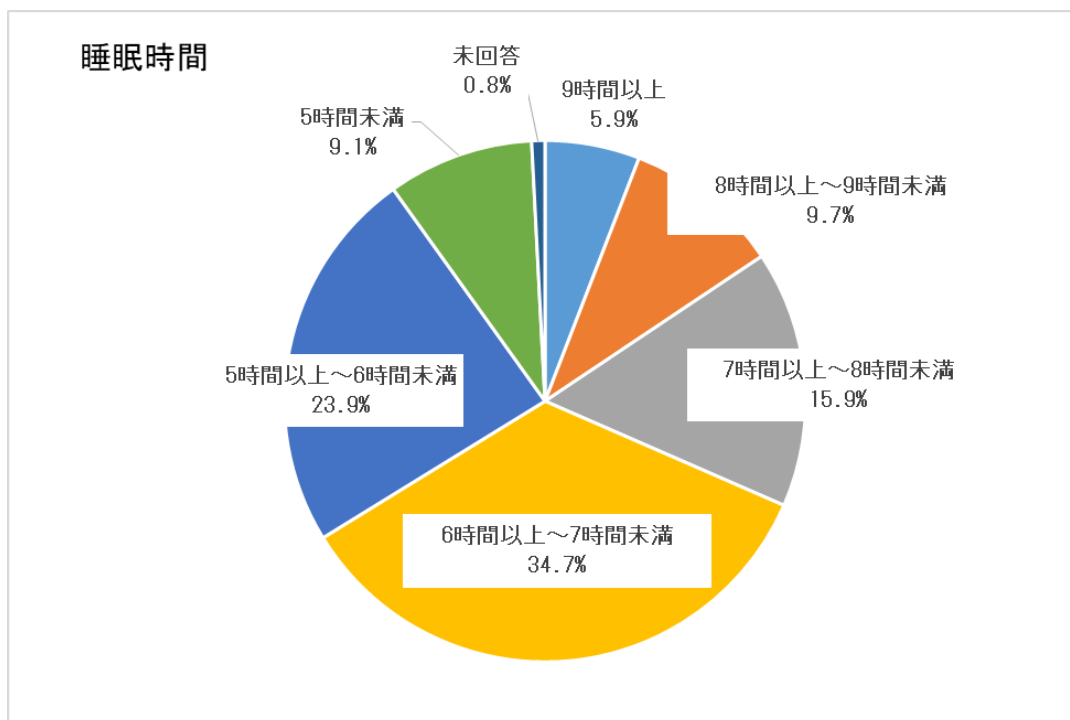


(4) 健康・悩み・ストレスについて

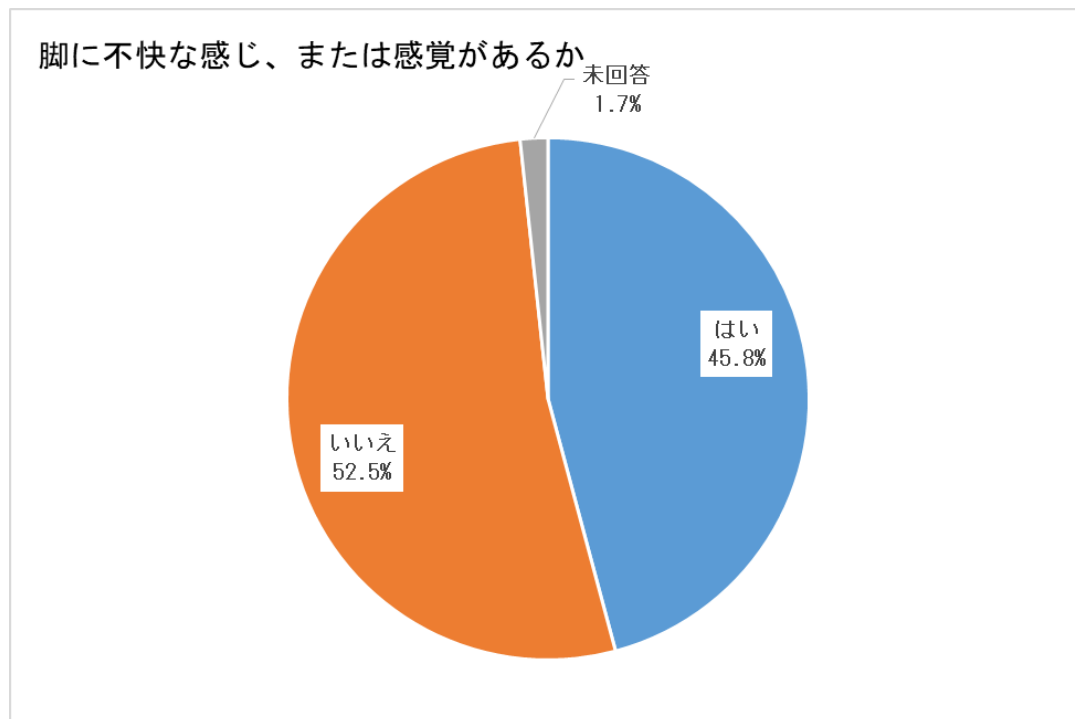
- 日常生活での悩みやストレスについて、「ある」と回答した方は72.6%【72.1%】であった。



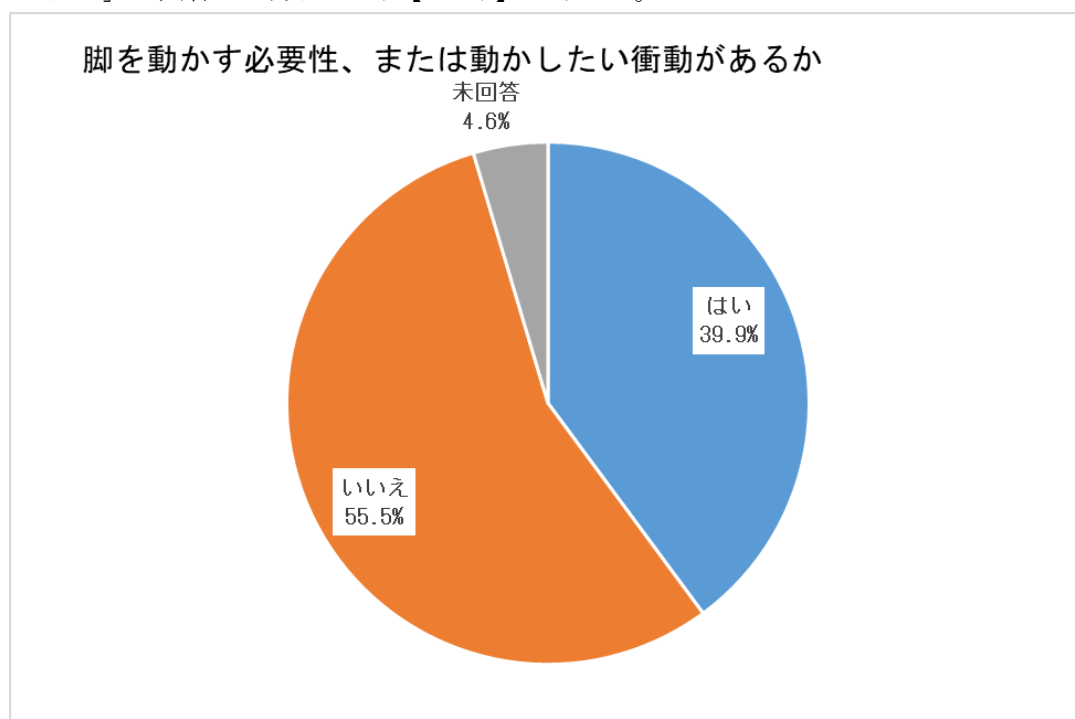
- 日常生活での悩みやストレスがあると回答した976人【982人】を対象に、悩みやストレスの最も気になる原因（1つ）を質問したところ、「自分の健康状態、病気や介護」と回答した方が371人（38.0%）【409人（41.6%）】と最も多かった。
- 睡眠時間についてみると、「6時間以上7時間未満」と回答した方が34.7%【32.8%】と最も多く、次いで、「5時間以上6時間未満」が23.9%【24.1%】、「7時間以上8時間未満」が15.9%【18.6%】等の順であった。



- ・睡眠時間のとれている度合いについてみると、「夜間、睡眠途中で目が覚めて困った。」と回答した方が44.6%【46.5%】と多く、次いで、「日中、眠気を感じた。」が37.2%【39.4%】、「睡眠全体の質に満足できなかった。」が34.7%【31.9%】等の順であった。
- ・座っているとき、または横になっている間に脚に不快な感じ、または感覚についてみると、「はい」と回答した方は45.8%【44.8%】であった。



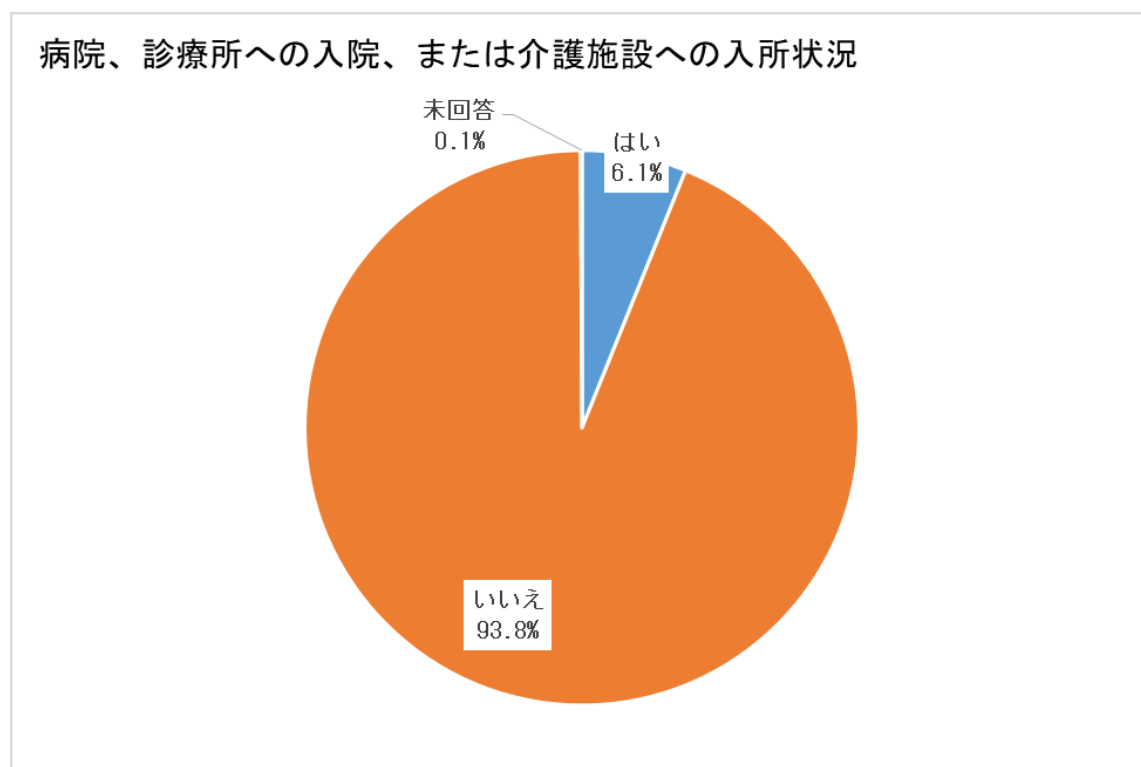
- ・座っているとき、または横になっている間に脚を動かす必要性、または動かしたい衝動についてみると、「はい」と回答した方は39.9%【38.8%】であった。



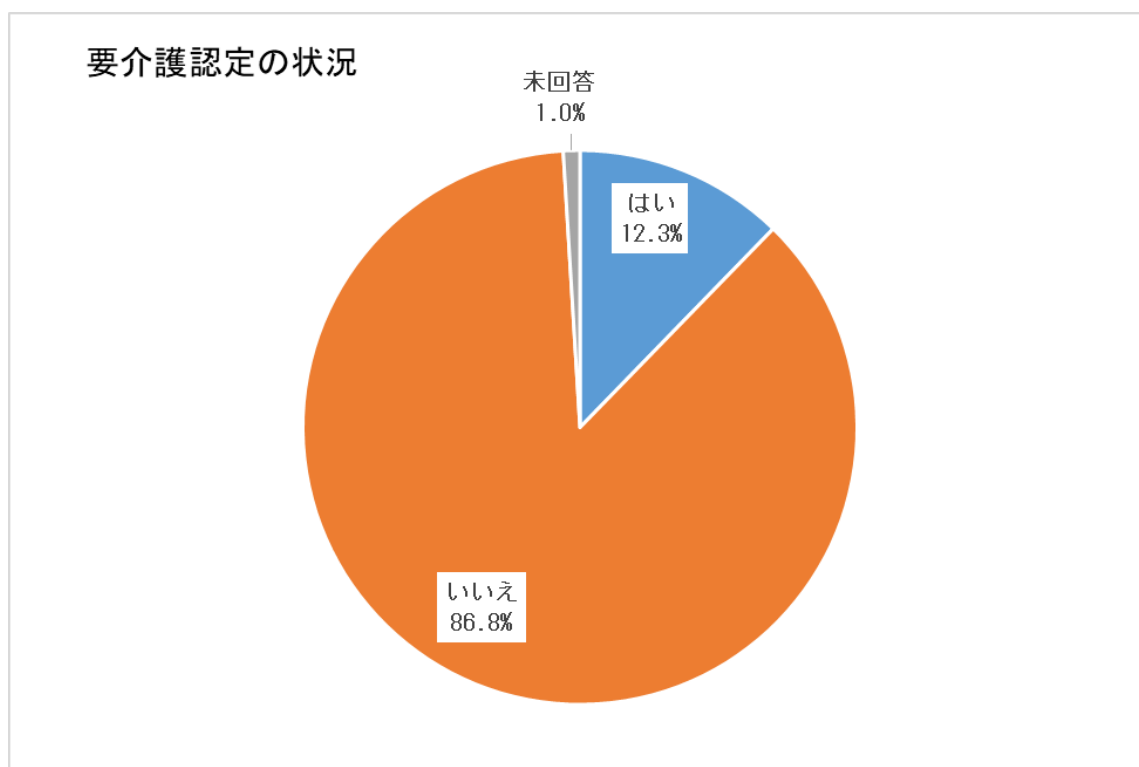
- ・座っているとき、または横になっている間に脚に不快な感じ、または感覚について「はい」、または座っているとき、または横になっている間に脚を動かす必要性、または動かしたい衝動について「はい」と回答した665人【655人】を対象に、休んでいるとき（座っているとき、または横になっているとき）と、体を動かしているときのどちらでこのように感じやすいかについて質問したところ、「休んでいるとき」と回答した方が312人（46.9%）【301人（46.0%）】と最も多かった。
- ・座っているとき、または横になっている間に脚に不快な感じ、または感覚について「はい」、または座っているとき、または横になっている間に脚を動かす必要性、または動かしたい衝動について「はい」と回答した665人の、このような感じがするときに起き上がったたり、動き回ったりすると、実際に動き続けているあいだは、その感じはいくらかでも軽くなるかについてみると「はい」が349人（52.5%）【351人（53.6%）】と最も多かった。
- ・座っているとき、または横になっている間に脚に不快な感じ、または感覚について「はい」、または座っているとき、または横になっている間に脚を動かす必要性、または動かしたい衝動について「はい」と回答した665人の、脚のこの感じは1日のうちの時間帯でもっとも起こりやすいかについては、「夜」が267人（40.2%）【278人（42.4%）】と最も多かった。

(5) 介護や日常生活動作の状況について

- ・病院や診療所への入院、介護施設への入所状況についてみると、6.1%【5.7%】の方が入院中もしくは入所中であった。



- ・要介護認定の状況についてみると、165人（12.3%）【168人（12.3%）】、男性61人（9.5%）【59人（9.1%）】、女性104人（14.8%）【109人（15.2%）】の方が要介護認定を受けていた。



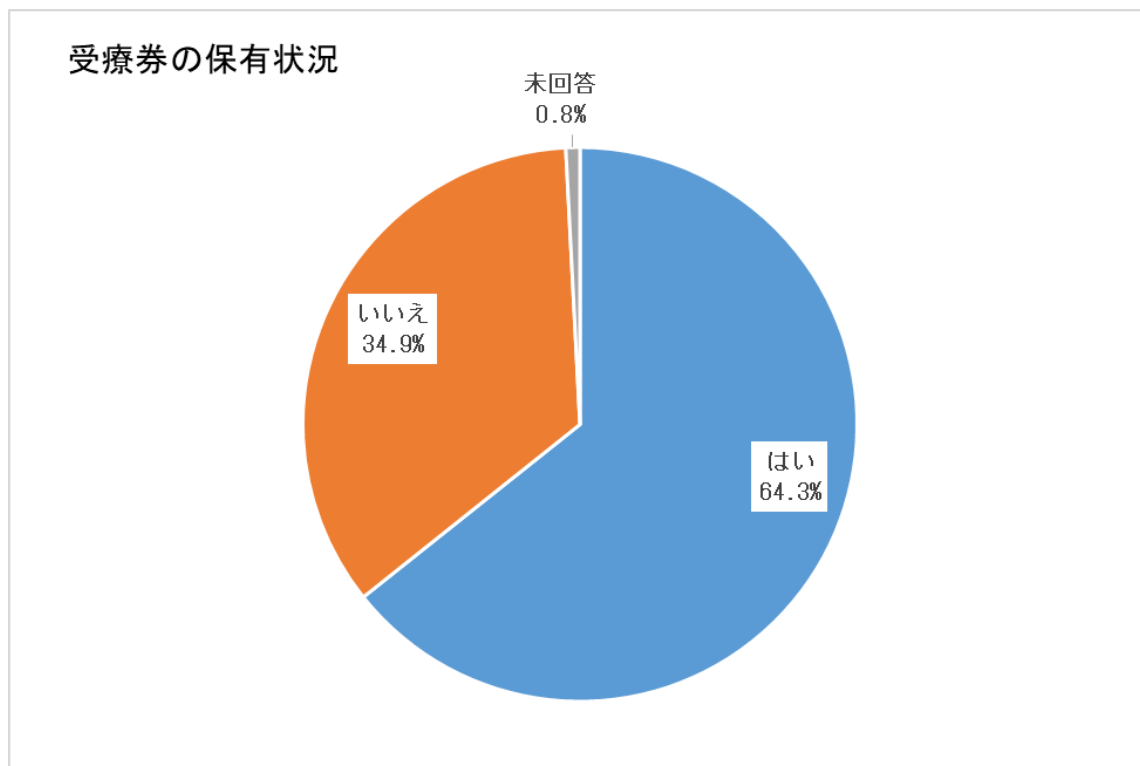
- ・また、要介護認定を受けている165人の方に現在利用している介護保険サービス（当てはまるものすべて）を質問したところ、「通所介護（デイサービス）」が27.3%【26.8%】と最も多く、次いで「ホームヘルパーの訪問介護・訪問看護」が20.0%【17.9%】等の順であった。

(6) 現在の治療状況について

- ・現在の受診頻度についてみると、「毎月1～3回程度」が47.8%【48.8%】と最も多く、次いで「数か月に1回程度」が26.2%【23.4%】等の順であった。
- ・新型コロナウイルスの影響により、普段の受診の頻度に変化（減少）があると回答した方は、245人（18.2%）で、男性84人（13.1%）、女性161人（22.9%）であった。
- ・また、新型コロナウイルスの影響により、普段の受診の頻度に変化（減少）があると回答した245人を対象に、受診頻度が変化（減少）した理由を質問したところ、「病院で新型コロナウイルスに感染するかもしれないため」と回答した方が154人（11.5%）と最も多かった。
- ・医師から処方されている薬があると回答した方は、978人（72.8%）【967人（71.0%）】で、男性451人（70.4%）【440人（68.0%）】、女性527人（75.0%）【527人（73.7%）】であった。

(7) 油症患者受療券（受療券）の利用状況について

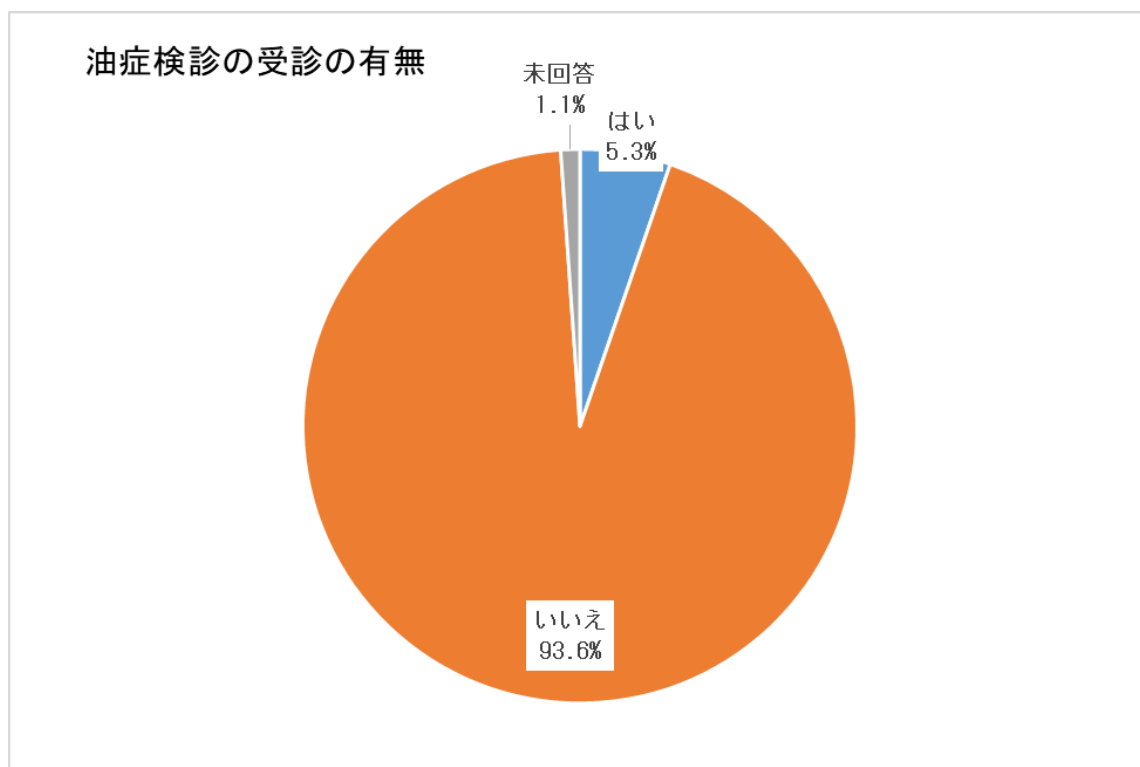
- ・受療券の保有状況についてみると、受療券を持っていると回答した方は864人（64.3%）【867人（63.7%）】で、男性400人（62.4%）【405人（62.6%）】、女性464人（66.0%）【462人（64.6%）】であった。



- ・受療券を持っていると回答した方は864人のうち507人（58.7%）【516人（59.5%）】が、この1年間、受療券を利用せずに受診した経験があると回答した。
- ・受療券を利用せずに受診した経験があると回答した507人を対象に、受療券を利用せずに受診した理由を質問したところ、331人（65.3%）【320人（62.0%）】の方が「受療券を利用できない医療機関のため」と回答した。
- ・受療券を所持していないと回答した469人（34.9%）【465人（34.1%）】を対象に、受療券を持たない理由を質問したところ、189人（40.3%）【193人（41.5%）】の方が「受療券が利用できる医療機関が限られるから」と回答した。
- ・受療券の利用を希望する医療機関があるか質問したところ、66人（4.9%）【96人（7.0%）】の方が「はい」と回答した。

(8) 油症検診について

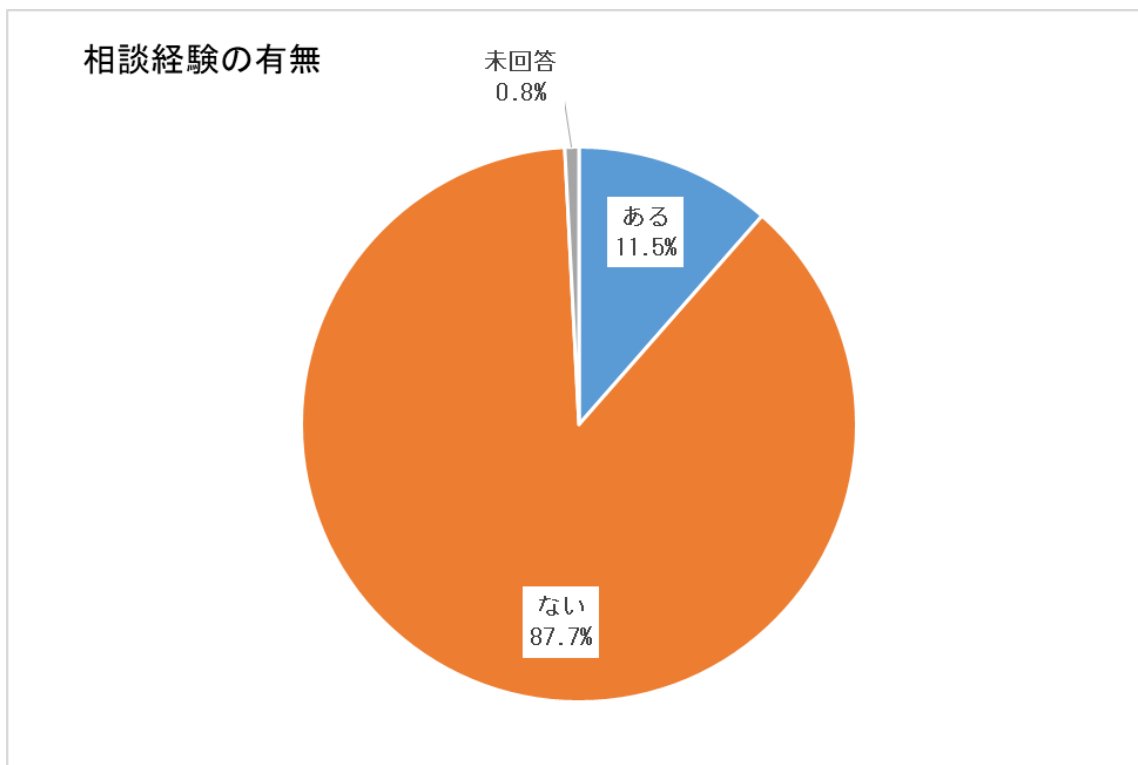
- ・油症検診の昨年度の受診状況についてみると、受診したと回答した方は、71人（5.3%）【505人（37.1%）】であった。



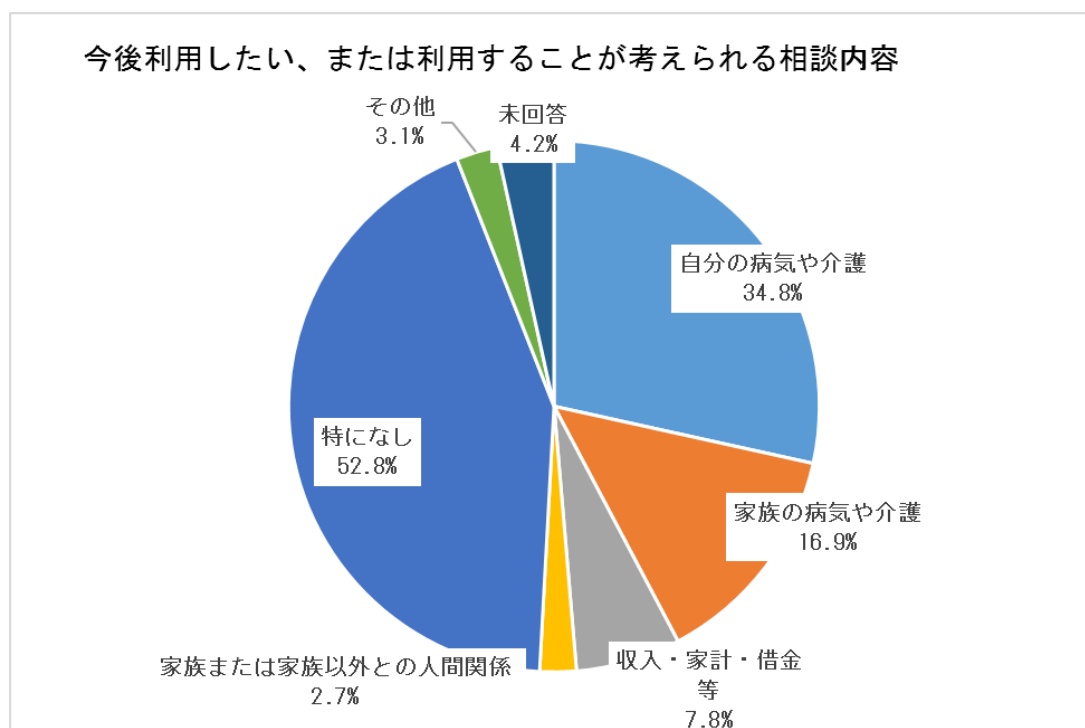
- ・油症検診を受診していないと回答した1,259人(93.7%)【847人(62.2%)】を対象に、受診しなかった主な理由を質問したところ、「新型コロナウイルスの拡大防止のために検診が中止又は一部縮小されていたから」と回答した方が441人（35.0%）と最も多かった。

(9) 相談体制について

- ・油症相談員や都道府県の相談窓口への相談状況についてみると、相談したことがあると回答した方は、154人(11.5%)【185人(13.6%)】であった。



- ・相談したことがないと回答した1,179人(87.7%)【1,153人(84.7%)】を対象に、今後利用したい、または利用することが考えられる相談内容を質問したところ、「特になし」と回答した方が622人(52.8%)と最も多く、次いで「自分の病気や介護」と回答した方が410人(34.8%)【669人(58.0%)】、「家族の病気や介護」が199人(16.9%)【275人(23.9%)】等の順であった。

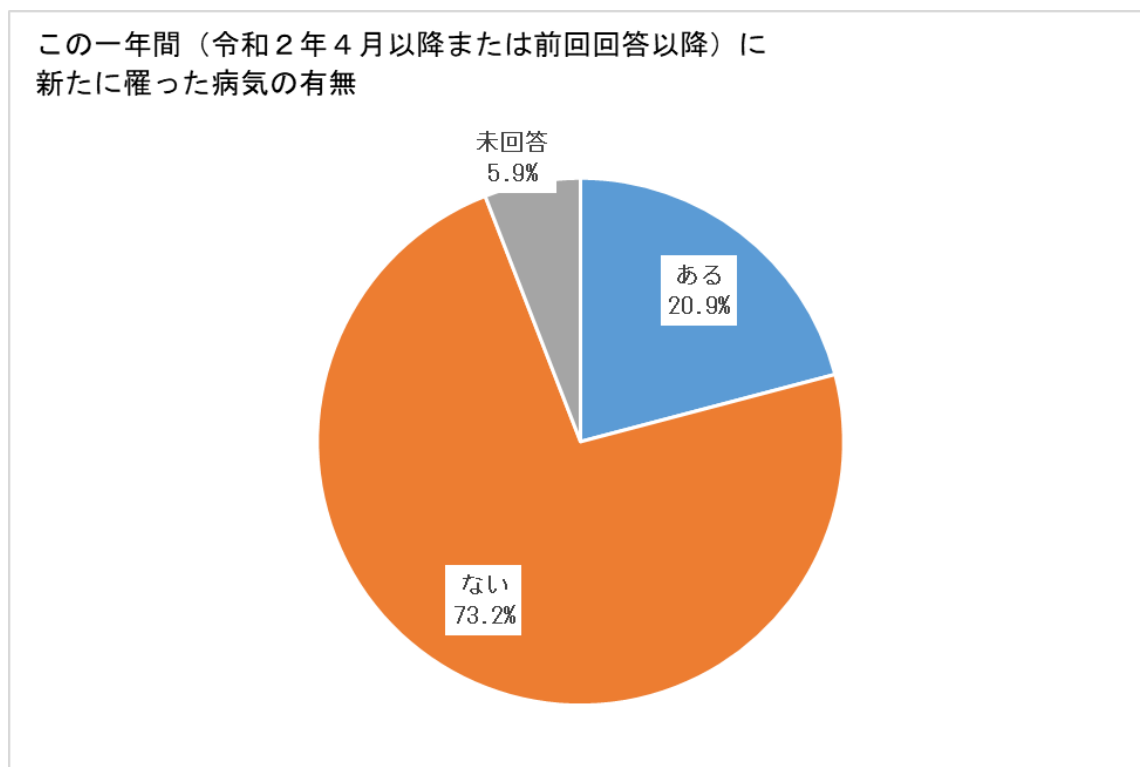


(10) 本調査の回答状況について

- ・本調査に回答するのは今回が初めてかどうかをみると、14人（1.0%）【21人（1.5%）】の方が「はい」と回答した。

(11) 本調査が初めてではない方の罹患と治療状況について

- ・本調査に回答するのは今回が初めてではないと回答した1,321人（98.3%）【1,323人（97.1%）】の方に、この一年間（令和2年4月以降または前回回答以降）に新たに罹った病気の有無を質問したところ、276人（20.9%）【283人（21.4%）】の方が「ある」と回答した。



- ・この一年間（令和2年4月以降または前回回答以降）に新たに罹った病気があると回答した276人【283人】に、具体的な病名を記述式で質問したところ、「白内障」が22人（8.0%）【16人（5.7%）】と最も多く、次いで「高血圧症」が20人（7.2%）【17人（6.0%）】、「骨折」が10人（3.6%）【15人（5.3%）】等の順であった。
- ・この一年間（令和2年4月以降または前回回答以降）に新たに罹った病気があり具体的な病名を記述式で回答した271人【280人】に、現在の治療状況を確認したところ、「医療機関で治療中」と回答した方が241人（88.9%）【242人（85.5%）】と最も多かった。

(12) 本調査が初めての方の罹患と治療状況について

- ・本調査に回答するのは今回が初めてと回答した14人（1.0%）を対象に、これまで罹ったことがある病気等の状況を調査したところ、
- ・悪性腫瘍（がん）について、これまで罹ったことがあるか質問したところ、2人（14.3%）が「ある」と回答し、その中で具体的な病名を質問したところ、1人が「上行結腸がん」、「盲腸がん」、もう1人が「前立腺がん」と回答した。
- ・悪性腫瘍（がん）の具体的な病名を回答した2人に現在の治療状況を質問したところ、1人が「がんに対する治療は終了し、定期的な検査のため通院中」、もう1人が「治療が完了し、通院もしていない」と回答した。
- ・悪性腫瘍（がん）の具体的な病名を記述式で回答した2人に現在までに医療機関で受けたすべての治療を質問したところ、「外科手術（胸腔鏡・腹腔鏡手術を含む）」、「薬物療法（抗がん剤・ホルモン剤など）」、「放射線療法」と回答した。
- ・脳・精神・神経の病気について、これまで罹ったことがある病気をみると、「頭痛」「神経痛」と回答した方が共に3件（21.4%）と最も多く、その中で「頭痛」は「治療していない」3件（21.4%）、「神経痛」は「治療していない」2件（14.3%）、「医療機関での治療をへて治癒」1件（7.1%）であった。
- ・自律神経系の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「過敏性腸症候群」と回答した方が2件（14.3%）と最も多く、すべて「治療していない」であった。
- ・眼の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「乱視」と回答した方が8件（57.1%）と最も多く、すべて「治療していない」であった。
- ・口の中の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「歯周病（歯槽膿漏）」と回答した方が8件（57.1%）と最も多く、その中で「医療機関での治療をへて治癒」4件（28.6%）、「医療機関で治療中」2件（14.3%）、「治療していない」2件（14.3%）であった。
- ・耳・鼻の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「鼻炎を起こしやすい」と回答した方が6件（42.9%）と最も多く、その中で「治療していない」4件（28.6%）、「医療機関で治療中」「医療機関での治療をへて治癒」が共に1件（7.1%）であった。
- ・甲状腺の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、該当なしであった。
- ・のど・気管支・肺の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「せき」と回答した方が4件（28.6%）と最も多く、その中で「治療していない」2件（14.3%）、「医療機関で治療中」1件（7.1%）、「医療機関での治療をへて治癒」1件（7.1%）であった。
- ・心臓の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「心筋梗塞」「不整脈（脈がとぶ）」「動悸（異常にドキドキする）」と回答した方がいずれも3件（21.4%）と最も多く、その中で「心筋梗塞」は「治療していない」2件（14.3%）、「医療機関での治療をへて治癒」1件（7.1%）、「不整脈（脈がとぶ）」は「医療機関で治療中」2件（14.3%）、「治療していない」1件（7.1%）、「動悸（異常にドキドキする）」は「医療機関で治療中」2件（14.3%）、「医療機関での治療をへて治癒」1件（7.1%）であった。
- ・高血圧や血管の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「高血圧」と回答した方が6件（42.9%）と最も多く、すべて「医療機関で治療中」であった。

- ・肝臓・胆のう・脾臓の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「B型肝炎」「C型肝炎」「肝機能障害」「胆のう炎」「胆石症」「黄疸」「脾腫(脾臓がはれる)」「その他」と回答した方がいずれも1件(7.1%)あり、「胆のう炎」「胆石症」「黄疸」は「医療機関での治療をへて治癒」、「B型肝炎」「C型肝炎」「肝機能障害」「脾腫(脾臓がはれる)」「その他」は「治療していない」であった。
- ・すい臓の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「糖尿病」と回答した方が3件(21.4%)と最も多く、その中で「医療機関で治療中」2件(14.3%)、「医療機関での治療をへて治癒」1件(7.1%)であった。
- ・腎臓・膀胱の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「膀胱炎」と回答した方が5件(35.7%)と最も多く、その中で「医療機関での治療をへて治癒」4件(28.6%)、「治療していない」1件(7.1%)であった。
- ・食道・胃・腸・肛門の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「下痢」と回答した方が6件(42.9%)と最も多く、その中で「治療していない」4件(28.6%)、「医療機関で治療中」1件(7.1%)、「医療機関での治療をへて治癒」1件(7.1%)であった。
- ・血液・リンパの病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「脂質異常症(高脂血症)」と回答した方が4件(28.6%)と最も多く、その中で「医療機関で治療中」3件(21.4%)、「医療機関での治療をへて治癒」1件(7.1%)であった。
- ・男性に対し、前立腺・男性機能に関する病気・症状について、これまでに罹ったことがある病気をみると、「その他」と回答した方が1件(11.1%)あり、「医療機関での治療をへて治癒」であった。
- ・女性に対し、子宮・卵巣・婦人科系の病気・症状について、これまでに罹ったことがある病気をみると、「子宮筋腫」と回答した方が2件(40.0%)と最も多く、すべて「治療していない」であった。
- ・初経の年齢を回答した4人の平均年齢は、14.8歳であった。
- ・閉経の年齢を回答した5人の平均年齢は、52.4歳であった。
- ・不妊症についてみると、「あり」と回答した方はいなかった。
- ・妊娠回数についてみると、「0回」と回答した方が3件(60.0%)と最も多く、次いで「1回」、「2回」が共に1件(20.0%)であった。
- ・記載のあった妊娠中の状況を集計してみると、「とくになし」が2件(66.7%)であった。
- ・記載のあった出産等の状況を集計してみると、「正常分娩」が2件(66.7%)であった。
- ・記載のあった出産時の出血量を集計してみると、「中」、「多」が共に1件(50.0%)であった。
- ・記載のあった新生児の状況を集計してみると、「とくになし」が2件(100.0%)であった。
- ・骨・関節の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「腰痛」と回答した方が10件(71.4%)と最も多く、その中で「医療機関で治療中」4件(28.6%)、「治療していない」4件(28.6%)、「医療機関での治療をへて治癒」2件(14.3%)であった。
- ・皮膚・爪の病気・症状について、これまで罹ったことがある病気をみると、「皮膚の掻痒(かゆみ)」と回答した方が8件(57.1%)と最も多く、その中で「治療していない」5件(35.7%)、「医療機関で治療中」3件(21.4%)であった。

- ・アレルギー疾患について、これまで罹ったことがある病気をみると、「アトピー性皮膚炎」「アレルギー性鼻炎」「花粉症」「蕁麻疹」と回答した方がいずれも4件（28.6%）と最も多く、その中で「アトピー性皮膚炎」は「治療していない」3件（21.4%）、「医療機関での治療をへて治癒」1件（7.1%）、「アレルギー性鼻炎」は「治療していない」3件（21.4%）、「医療機関で治療中」1件（7.1%）、「花粉症」は「治療していない」4件（28.6%）、「蕁麻疹」は「医療機関での治療をへて治癒」2件（14.3%）、「医療機関で治療中」1件（7.1%）、「治療していない」1件（7.1%）であった。
- ・膠原病について、これまで罹ったことがある病気をみると、「ベーチェット病」と回答した方が1件（7.1%）あり、「医療機関で治療中」であった。
- ・その他の症状について、これまで罹ったことがある症状をみると、「体がつる」と回答した方が6件（42.9%）と最も多く、その中で「治療していない」5件（35.7%）、「医療機関で治療中」1件（7.1%）であった。

(11) 自由記載欄について

本調査では、「これまでの症状や病気について、書ききれなかったことや、特に研究してもらいたいこと、要望など」について自由記入欄を設けたところ、255人【307人】から回答があった。

※主な記載内容

- ・自分、家族の健康に関する不安、生活上のストレス等について182件【203件】
- ・職業（仕事）に関する苦勞について2件【10件】
- ・経済的な苦勞について6件【13件】
- ・治療法の研究開発への要望、期待43件【55件】
- ・病院、医師、検診に関する要望35件【34件】
- ・行政機関に対する要望47件【53件】
- ・カネミ倉庫に対する要望1件【5件】
- ・その他51件【72件】